

『即応力』を育てるための ワークショップ形式授業における配慮点

～短時間で、まとめる・伝える・評価する
活動の繰り返しを通して～

自分の教育実践を研究として
成立させる方法について学ぶ会
2004. 1. 5.

正来 洋 石川県野々市小学校



なぜワークショップ形式授業？

子どもたちの実態から①



- ◎じっくり準備・発表は得意
- ◎「一人で」調べてまとめるのは得意
- ◎教師の指示に忠実な...よい子たち

子どもたちの実態から②

▲限られた時間に 互いに、
考えを持つ、伝え合う、
話し合う、まとめる

弱点

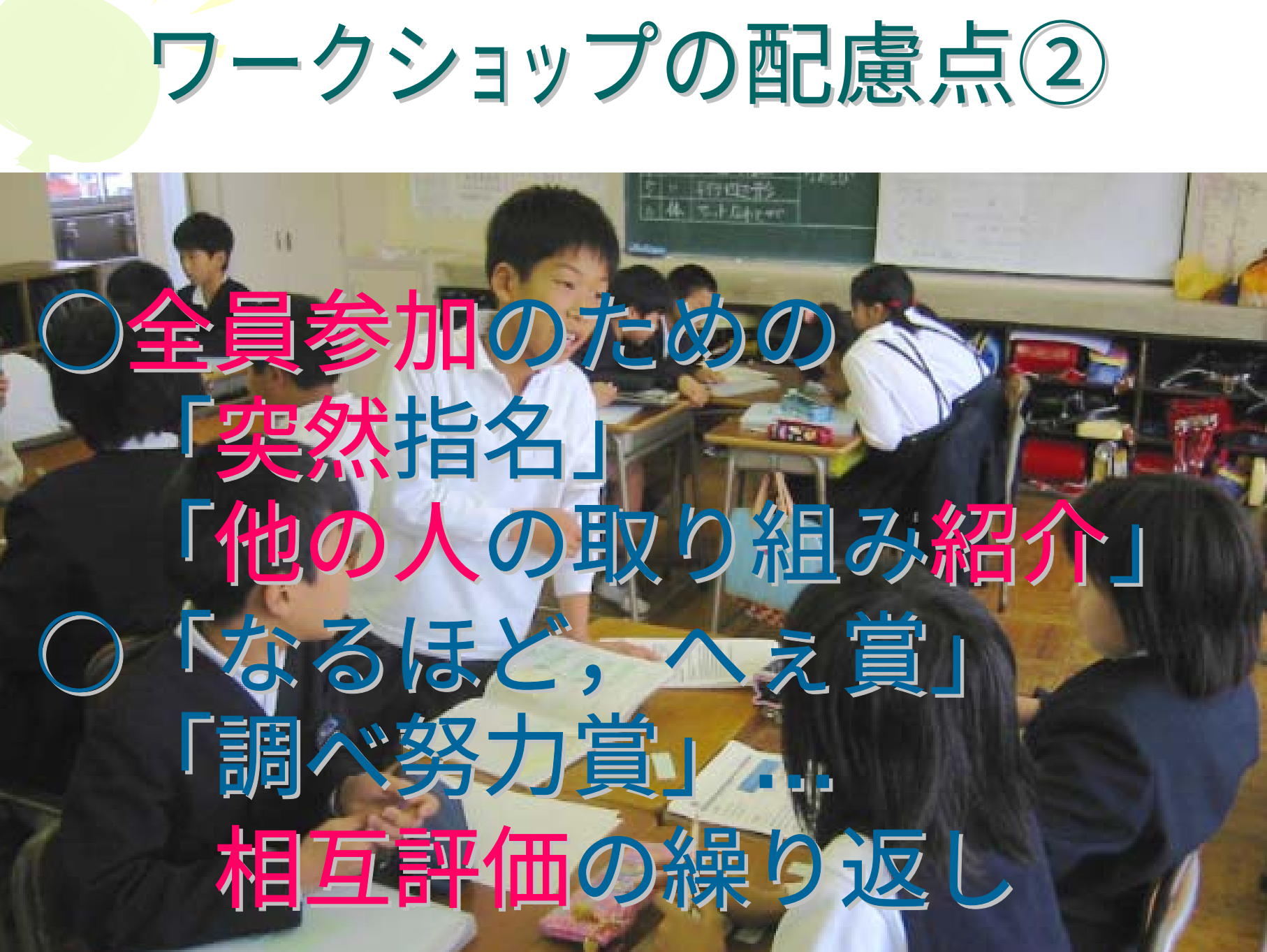


ワークショップの配慮点①

- 個の思い・考えをメモ
 - グループで考えを出し合い
整理する，まとめる
- 集団思考

付箋紙の利用

ワークショップの配慮点②

- 
- 全員参加のための
「突然指名」
「他の人の取り組み紹介」
 - 「なるほど，へえ賞」
「調べ努力賞」...
相互評価の繰り返し

ワークショップの配慮点③

自分の調べ・提案

良い所と足りない所

私は自分自身がこういうの
になれてまたよくなか
します。調べる力があつた
よくなかしてうれし→
でも、調べる力はいいんだけど、調べ
すきで、すかいい文になつたから、もう
すこししゃらくして、キーワードだけ
書いて、あとからきちんとした文にしたい
と思います。キーワード第一！



今日のセルフチェック！

調べる力

A

まとめて
言う力

B

まとめて
書く力

A

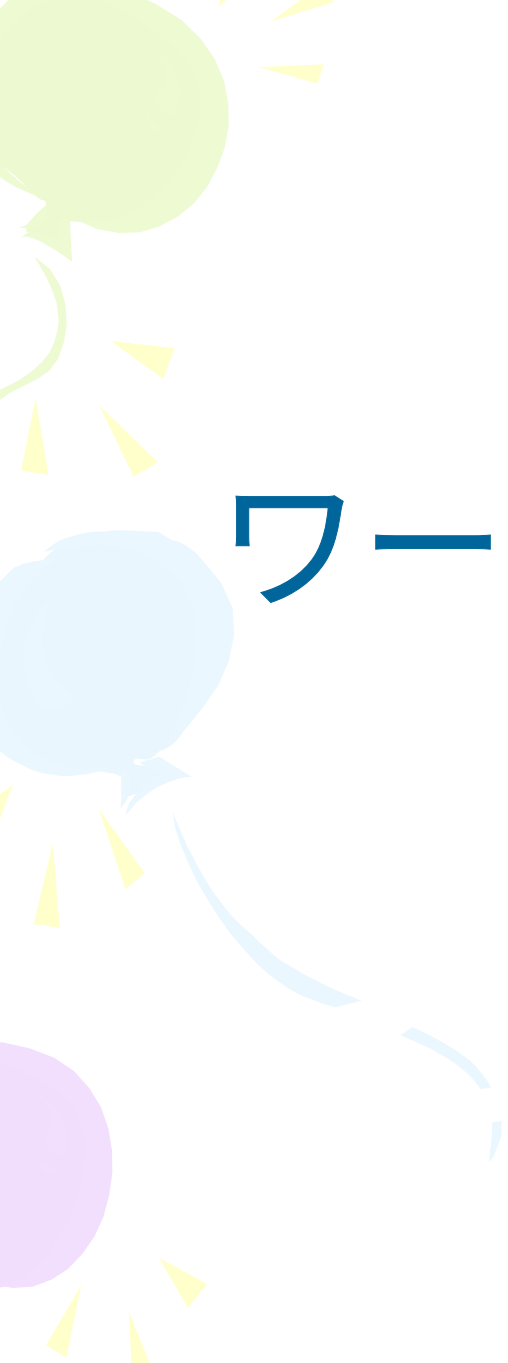
グループで協
力する力

A

11月20日 名前

今日は、とてよく賞だった。ラッキー

ワークショップの成果をふりかえる自己評価ワークシート



ワークショップ授業の 実際

ワークショップ実施状況

ワークショップ実施の概要

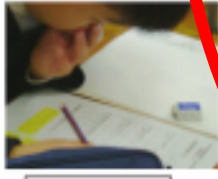
社会科「食料生産」「自動車工業」	総合「われら地球環境防衛隊」
⑩10.6 「食料生産」ビデオ教材からわかることについて意見交換 ⑩10.7 「食料生産」ビデオ教材からわかることについて意見交換、発表方法についての見直し	⑩9.2 夏休み研究課題発表「環境問題」 

ワークショップ実施回数
9月初旬～12月初旬
全19回

データ採取対象

11月17日～
12月2日

総合での
セッション1～5
(S1～S5)

社会科「食料生産」「自動車工業」	総合「われら地球環境防衛隊」
	⑩11.14. ビデオ教材「空き缶リサイクル」の視聴と意見交換ワークショップ。 11.13のグループウェビングの成果を踏まえて、クラス全体で環境問題の把握のためのウェビング。
セッション1 (S1)	⑩11.17. 個別課題「身の回りの環境問題を探す」。グループ内発表・共有ワークショップ。グループ内評価「なるほど、へえ貴」「よく調べた努力貴」でグループ内相互評価。
セッション2 (S2)	⑩11.19.-1 「江戸のくらしに学ぶリサイクル・リユース」ビデオ視聴とワークショップ。グループ内評価「なるほど、へえ貴」「よく調べた努力貴」でグループ内相互評価。
セッション3 (S3)	⑩11.19.-2 個別課題「身の回りの環境問題を探す」。自分たちができるところを提案する。グループ内発表・共有ワークショップ2。グループ内評価「なるほど、へえ貴」「よく調べた努力貴」でグループ内相互評価。
セッション4 (S4)	⑩11.20. 個別課題追究「身の回りの環境問題を探す」の個人提案の調査作成中間報告ワークショップ。
	⑩11.21. 「身の回りの環境問題を探す」の個人提案をおうちの人に評価してもらってどうだったかを共有するワークショップ。 課題ごとに子どもたちをグループイング。グループでの提案作成に移行。
	⑩11.27. 成果発表会①。各グループの提案を聞き、ゲストコメンテーターからの評価を受ける。個別に提案の評価を行い、グループで相談してグループの提案に評価点を与えるディスカッション。
	⑩11.28. 成果発表会②。同上。
セッション5 (S5)	⑩11.31. グループ発表の総括・自己評価セッション







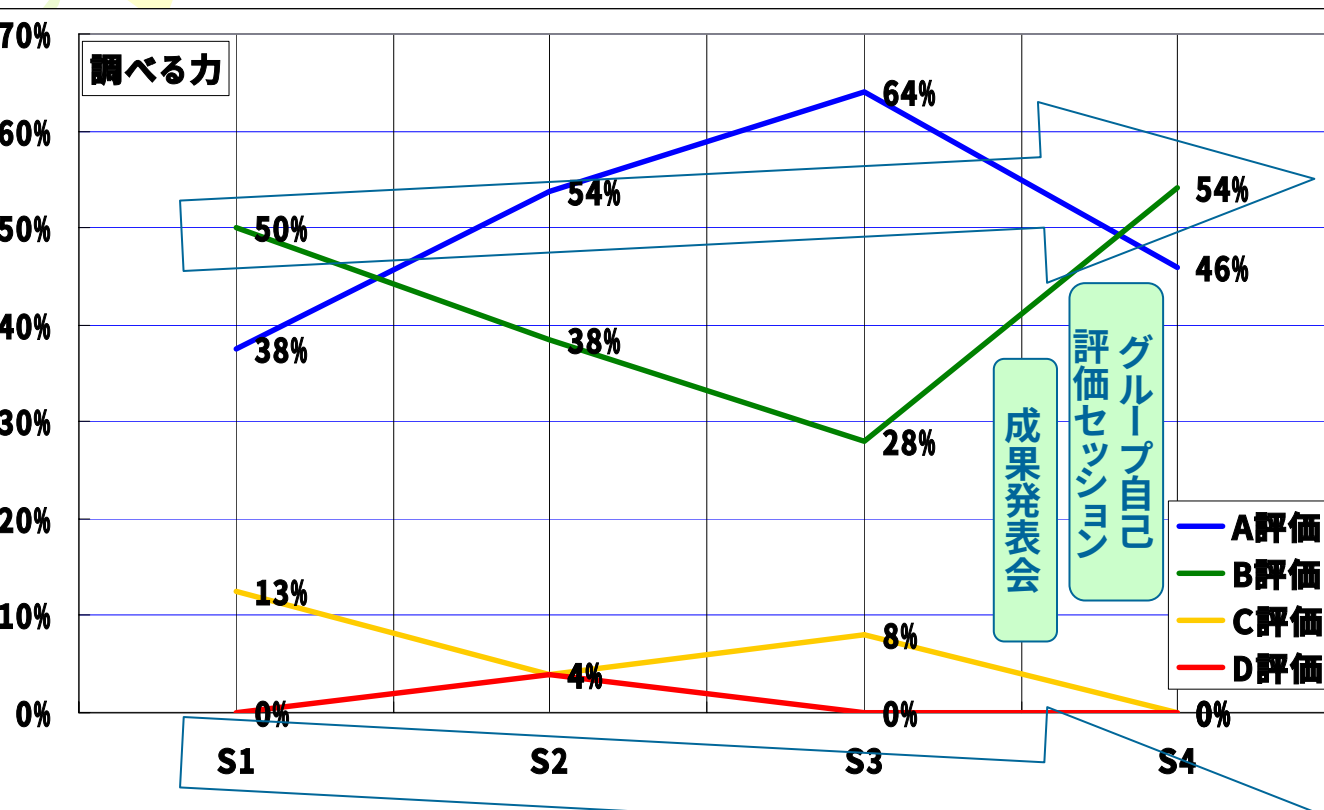






調べる力

(自己己評価の推移)



A評価は
上昇基調

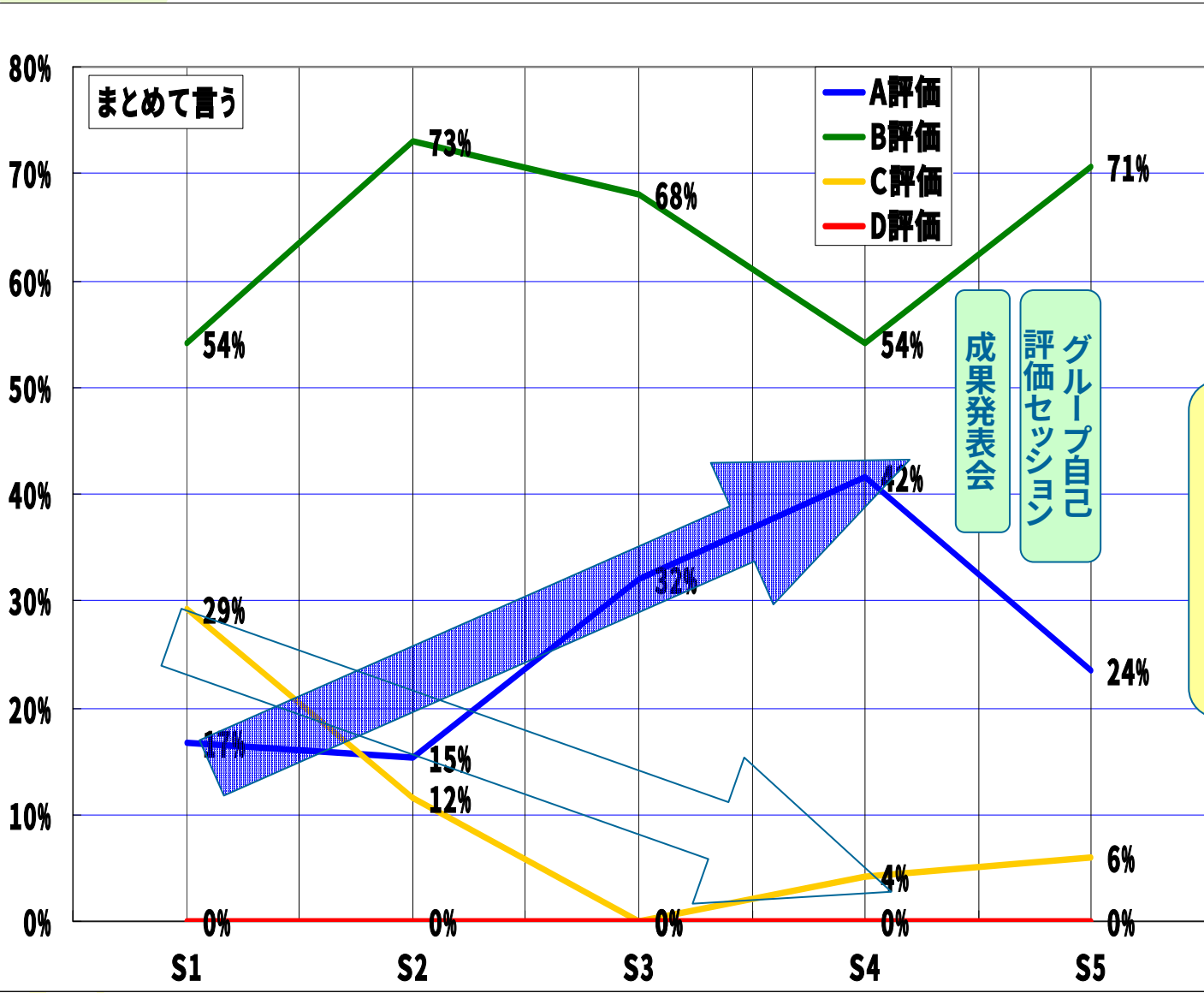
大きな
変化では
ない？

ワークショップ
の
経験値は
調べ活動への
自信には
つながらない

考察その2

まとめて言う力

(自己評価の推移)



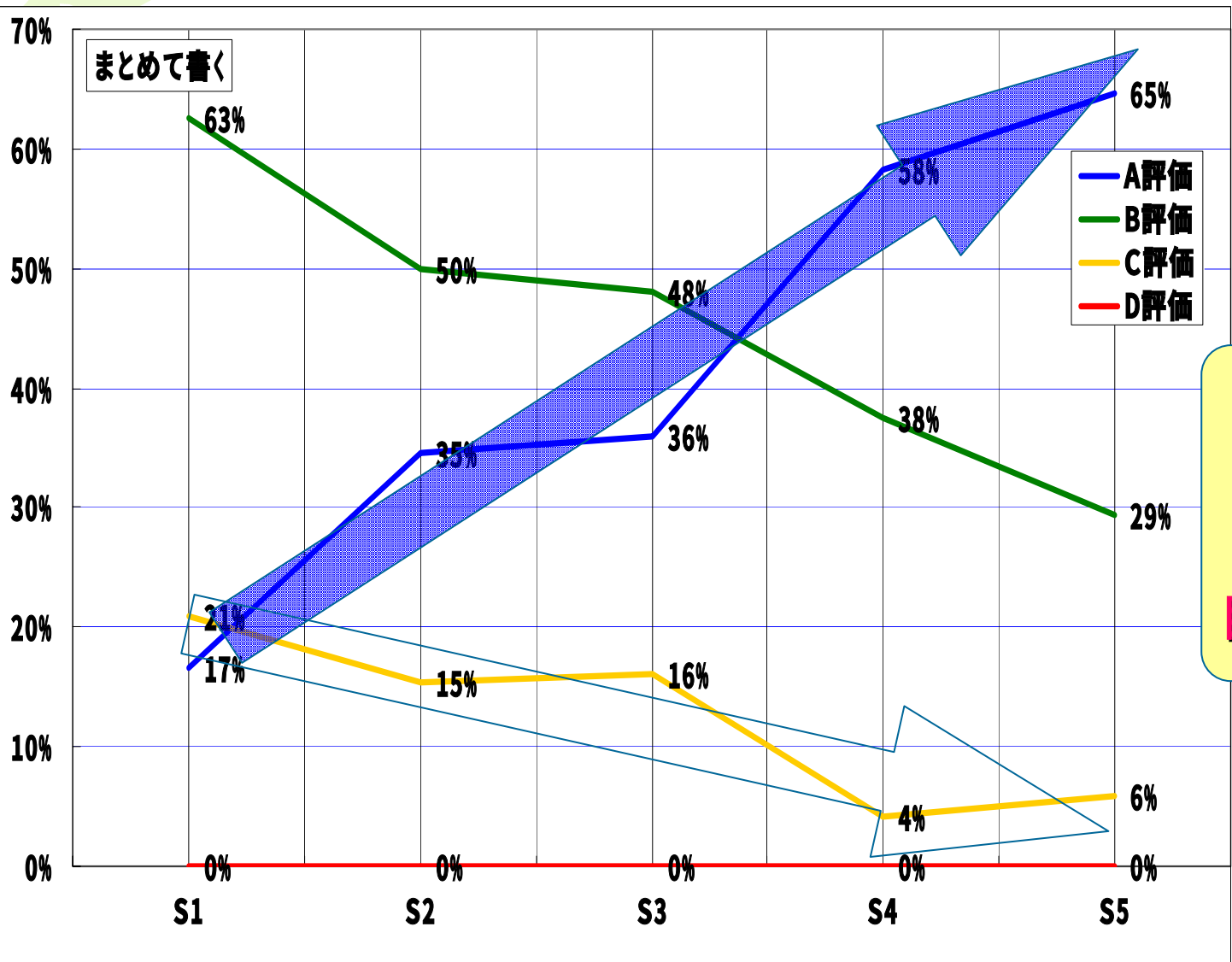
A評価
S1から
S4まで
上昇基調
※S5は全体

経験値の
上昇とともに
自信・達成感

C評価の
顕著な
低落傾向

まとめて書く力

(自己評価の推移)



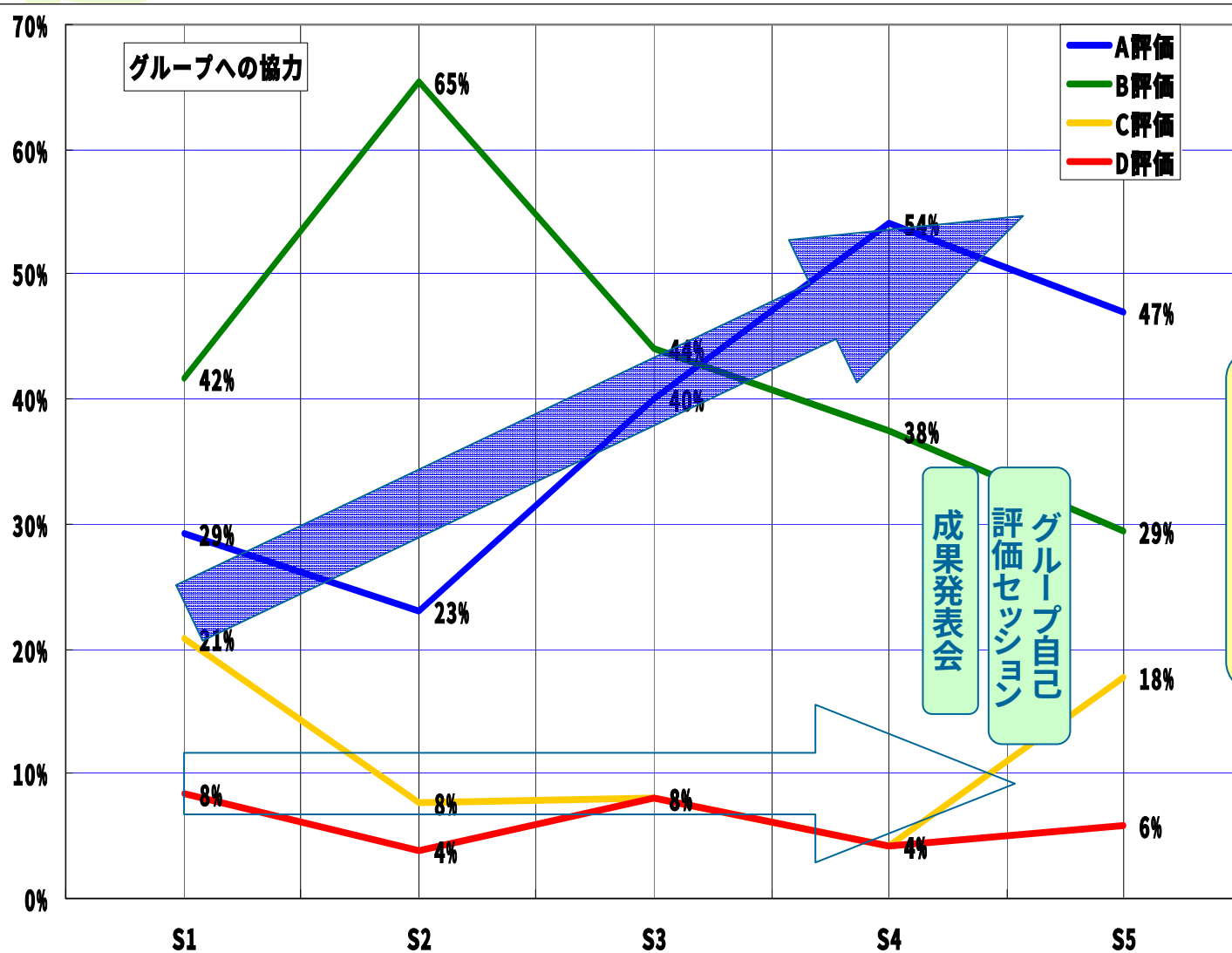
A評価
顕著な
上昇

まとめて
書くこと
への
自信・達成感

C評価の
低落傾向

グループで協力する力

(自己評価の推移)



A評価
S1から
S4まで
上昇基調

経験値の
上昇が
自信・達成感
につながる

C・D評価
S5で
上昇傾向

まとめ

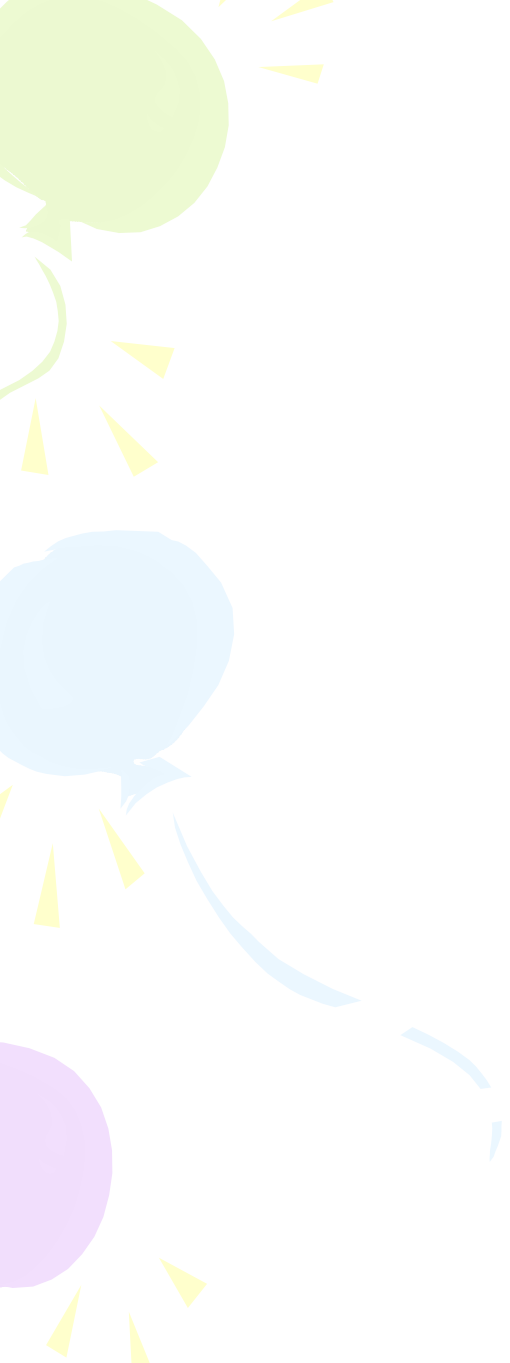
- ワークショップ → 「書き」「まとめ」「発言」せざるをえない状況
- 一定時間に書いて話してまとめる経験値の高まり → 「書く」「言う」ことへの抵抗感を薄め、自信をつけさせた
- ワークショップの経験値の高まりが、必ずしもグループコラボレーションに対する「達成感」につながるわけではない。
(テーマや求められるアウトプットにより変化)

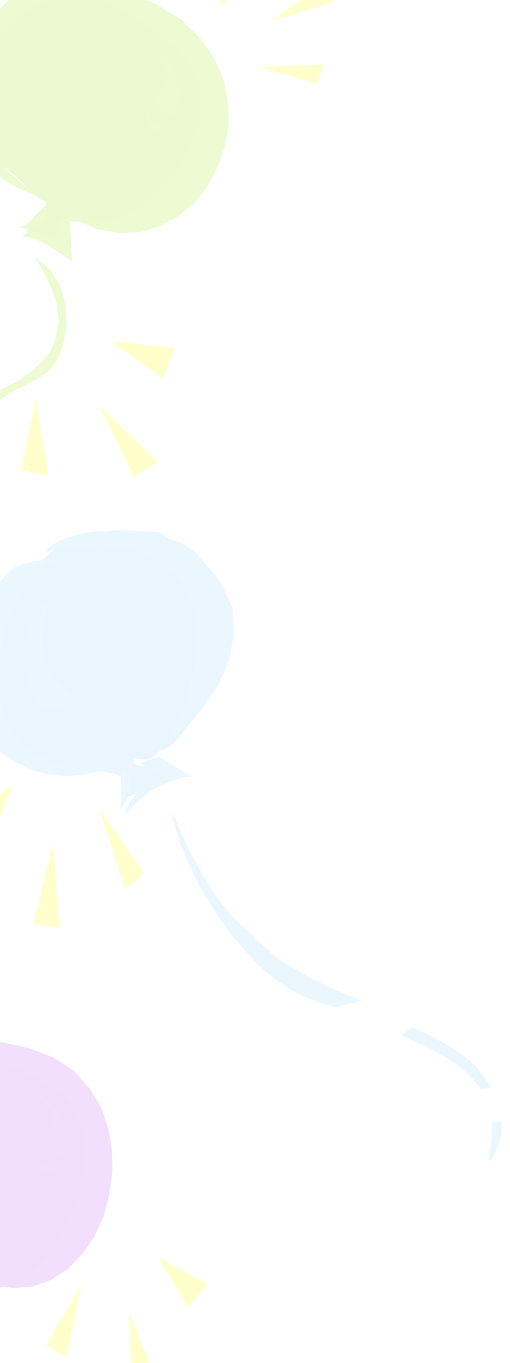
『即応力』を育てるための ワークショップ形式授業における配慮点

～短時間で、まとめる・伝える・評価する
活動の繰り返しを通して～

自分の教育実践を研究として
成立させる方法について学ぶ会
2004. 1. 5.

正来 洋 石川県野々市小学校





ワークショップに期待した効果

- 個の思い・考えをメモ
- グループで考えを出し合
整理する，集団思考

付箋紙の利用

- 全員参加のための
「突然指名」
「他の人の取り組み紹介」
• 「なるほど，へえ賞」「調べ努力賞」

...

相互評価の繰り返し

- ワークショップの成果を次につなげる
自己評価ワークシート利用





A. 共知識 / 情報の共有のためのワークショップ

資料（図書・ビデオ）の閲覧
附箋紙への意見・感想書き込み



グループ内（3
～5人）意見交
換



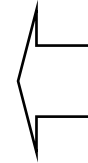
意見の整理・グ
ループینگ・ま
とめ



自己評価カード
記入（ワーク
シート）



グループ代表に
よる成果発表



グループ代表による成
果発表・教師評価

B. 個別の調べ活動成果共有のためのワークショップ

個別調べ活動の成果発表
附箋紙への意見・感想書
き込み



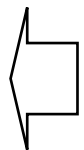
グループ内（3
～5人）意見交
換



意見の整理・グルー
ピング・まとめ



自己評価カード
記入（ワーク
シート）



グループ代表
による成果発
表



グループ代表に
よる成果発表・
教師評価



グループ内
相互評価